

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和2年11月30日



# 学校だより

## 12月号

Email [y3motois@edu.city.yokohama.jp](mailto:y3motois@edu.city.yokohama.jp)

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

TEL 045(902)1821

## 自転車のライト

校長 鈴木 彰

「自転車のライトって、何のためにあるの？」

「暗い道でも安全に走れるようにするためだよ。」

「でも、ぼくの自転車のライトは暗いから、地面ははっきりと見えないよ。」

自転車のライトは何のためにあるのでしょうか。明るく照らすためでしょうか。いいえ、それだけではないのです。

自転車のライトが光っていると、反対から来る自動車からも自転車の存在が分かるのです。

自分のためだけでなく、相手のために必要なものもあるのですね。必要であるか必要でないかを、自分だけでなく相手の立場にもなって考えることはとても大切なことです。



「こんなの意味ないし…」と言う前に、本当にそれが何の役にも立っていないのかどうか考えてみたいものですね。それは、気がつかないところで自分のためになっていたり、相手のためになっていたり、相手への思いやりの行動につながっていたりすることがあるのです。

子どもは、家や学校の中でも、ときどき「自転車のライト」をつけています。相手に「わたしの気持ちに気づいて！」という『心のライト』です。私たち大人は、このライトに気づいて声をかけてあげられることが、たくさんあります。すると、子どもは安心して前に進んでいきます。

でも、ライトに気づかないこともあります。また時には、ライトに気づいているのに声をかけられないこともあります。ライトに気づいても、ただ見守っているほうがよいときだってあります。

12月は横浜市の「いじめ防止啓発月間」です。もしかしたら、近くにつらい思いをしている子がいるかもしれません。でも、その子もきっと「自転車のライト」のようなSOSを出していると思います。

子どもが大人の手を必要としているときに、力になってあげることのできる大人でありたいですね。特に、言葉ではっきりと伝えられない状況の子がいるときは…。

